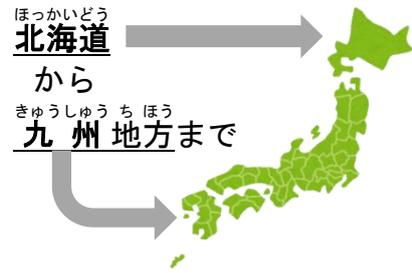


フクロウ



[分類] フクロウ目 フクロウ科

[日本での生息地]



わあ！ フクロウだ！

近くで見るとけっこう
大きいなあ。



かいせつじん
解説員



フクロウのからだの大きさは約50cm、つばさを広げると1mくらいになります。
このつばさで音もなく飛んできて、ネズミや鳥、虫などをつかまえて食べるの。

ハクちゃん



本当だ、とがった爪でネズミをつかまえているよ！



フクロウの足はすどい爪がついているだけではなく、
物をつかむ力も強いんです。それに、4本ある指のうち

1本は自由に向きを変えられるので、歩くときは前に3本、後ろに1本、
獲物をつかむときは、つかまえた獲物をにがしにくいように前後2本ずつに開くなど、
目的に合わせて形を変えることもできるんですよ。



フクロウの姿は大きな木がある公園やお寺、神社などでも見られ、
岩手県立博物館の近くでも暮らしていることがわかっています。

「ホーホー、ゴロスケホーホー」とも聞こえる不思議な鳴き声
したら、周りの森にフクロウがいるかもしれません。

いわてけんりつはくぶつかん さつえい
岩手県立博物館で撮影されたフクロウの写真





フクロウは主に夜の間に活動する「夜行性」の鳥で、暗やみでの狩りに
 便利なからだのつくりをしています。いくつかいっしょに見てみましょう。

1 顔



目の周りの平らな部分は顔盤がんばん といって、
 細かい羽毛うもうがたくさん生えています。



パラボラアンテナに似た
 かたちをしている顔盤がんばん

には、音をまとめて耳
 に届ける効果があり、フクロウ
 は光ひかりが少ない暗やみの中でも
 小さな音までよく聞き取って、
 あたりの様子を知ることができます。



2 はね 羽

フクロウは全体的にふわふわとした
 やわらかい羽毛うもうを持ち、つばさの先が
 丸く、一部の羽のふちはノコギリの
 歯のようにギザギザとしています。

これらの
 特ちょう的な

羽には羽音はねおとを

小さくする効果があり、

獲物えものに気づかれないように

近づくとともにとても便利です。



3 みみ 耳

フクロウの仲間の

多くは、左右の耳みみがそれぞれちがう高さについています。

耳の穴も別々の方を向いていて、同じ場所で鳴った音でも
 右耳と左耳で音の大きさがちがって聞こえたり少しずれて
 聞こえたりします。フクロウたちはこのほんの少しの音の
 ちがいを聞き分けて、音がする場所（獲物えものがいる場所）を
 正しく知ることができるのです。

また、耳のように見える部分をもつフクロウの仲間もいますが、
 「羽角うかく」と呼ばれる羽はねで、耳みみではありません。

フクロウ目フクロウ科
 トラフズク



左耳ひだりみみ

右耳みぎみみ

うかく
 羽角



引用・参考 BIRDER編集部他 2010年『BIRDER2010年11月号 身近なフクロウ雑記帳』/
 上田恵介他 2002年『小学館の図鑑・NEO⑤鳥』/小宮輝之他 1999年『ニューワイド学研の図鑑6巻 鳥』他

- 「けんぱくものしりシート」の内容は発行当時のものです。
- 「けんぱくものしりシート」は解説員が執筆しております。



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
 Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214

岩手県立博物館

検索

HPにてバックナンバー公開中！

けんぱくものしりシート 『フクロウ』

2023年11月発行 現勢・生物—No.27

■参考文献

- ・BIRDER 編集部他 2010『BIRDER2010年11月号 身近なフクロウ雑記帳』
- ・上田恵介他 2002『小学館の図鑑・NEO ⑤ 鳥』
- ・小宮輝之他 1999『ニューワイド学研の図鑑 6巻 鳥』
- ・岩手県立博物館 1996『これなあに？ 生物-21 フクロウ』